

# 「太平山麓九条の会」だより



事務局：須黒法律会計事務所 〒328-0027 栃木市今泉町 2-4-18 FAX0282-22-3757  
電話連絡先0282-22-7079(増田)  
Eメール [oohirasanroku9jo@yahoo.co.jp](mailto:oohirasanroku9jo@yahoo.co.jp) HP：太平山麓九条の会で検索

166号  
2021年4月23日発行

## 5月3日・憲法記念日 スタンディングで



## 憲法の大切さをアピールしよう！



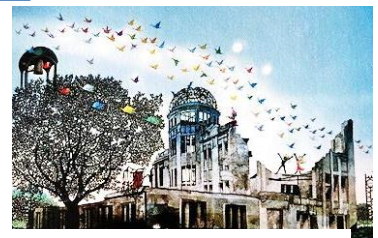
◆時間：10時から30分間

◆場所：イオン・カワチ前

5月3日は憲法記念日です。憲法をめぐっては、憲法審査会を開催し、憲法改正の手続きを定めた国民投票法の改正を目指す動きが急です。今、私たちは「コロナ禍」の中いろいろな苦痛を強いられています。感染の不安や生活苦にあえぐ私たち国民を守るカギは憲法を生かす政治をすることです。「憲法守れ！」の声を上げましょう。

## リメンバー ヒロシマ・ナガサキ

作詞／なかにし礼 歌／ソプラノ歌手佐藤しのぶ



「リメンバー」は、なかにし礼氏が日本を代表するオペラ歌手の佐藤しのぶさんから「核兵器反対」の歌を書いて欲しいと、その強い願いに応え作詞された曲です。

なぜ、核兵器のない平和を願う歌を歌いたいと強く願うようになったのか、佐藤しのぶさんは、そのたつての思いを語っています・・・

「オペラ歌手の道を歩むことになって世界各国で仕事をするようになり、同僚から日本は第二次世界大戦で大変な思いをしたが、広島・長崎はどうなっているのか。日本人はそのことをどう思っているのかと聞かれてもはっきりと答えることができなかつた。それから約10年後、不思議なことに、ベルアール市から、チェリノビル事故によって内部被ばくで療養している

子どもたちの前で歌ってほしいと一通の手紙が届いた。放射能が人間にどれほどの影響があるのかもよくわからないままに歌うことになったが、自分は何のために歌っているのだろうか、その時大変衝撃を受けた・・・」さらに、「これでやっと歌手として生まれた人間の責任を果たすことができる」とも語っています。

今回「平和コンサート」を取り組む中で「リメンバーヒロシマ・ナガサキ」を知り、CDを聞き、あまりの素晴らしさに心が震えました。

佐藤しのぶさんは、2年前に61歳で他界しました。核兵器禁止条約が発効された今、地球上から核兵器がなくなるまで、この歌は生き続けていくことでしょう。（大森八重子記）

♪♪♪  
この地球を  
宇宙からながめたら  
美しい青い星だ  
国境は引かれていない  
今もどこかで  
戦争はつづいてる  
悲しみと山のような  
屍が折り重なって  
戦争と核兵器のない  
平和の実現を願う人は集まれ！  
リメンバー  
ヒロシマ・ナガサキ  
過ちは繰り返さない  
リメンバー  
ヒロシマ・ナガサキ  
人間に英知と愛があるなら  
愛と平和 自由を  
私たちにください  
愛と平和 自由を  
私たちにください  
遠くとも核なき世界を  
目指して手を繋ぎ  
みんな 歩きはじめよう  
リメンバー ヒロシマ・ナガサキ  
沈黙に さよならしよう  
リメンバー ヒロシマ・ナガサキ  
行動と勇気で 生まれ変わろう  
愛と平和 自由を  
私たちにください（繰り返し）  
♪♪♪



# 「非戦の桜」 知っていますか



とても鮮やかな濃いピンク色、一重で大輪、その桜が「陽光桜」と言われるもの。アマギヨシノとカンヒザクラを交雑させて作出し栽培されたもの。ソメイヨシノより早く咲くのでいち早く春を感じる人も多いのではないのでしょうか。

実はこの「陽光桜」にはとても強い願いが込められている。この栽培種の作者は第2次世界大戦中に愛媛県の教師だった高岡正明さん。出征した教え子たちの死を悼み冥福を祈って、およそ30年間私財をなげうって栽培を成功させた。教え子への鎮魂、という強い願いが「陽光桜」にはある。命名には哀悼とともに教え子たちの蘇生への願いが込められているように感じる。「君たちは太陽のように光り輝く」とでも言っているように私には思える。

高岡さんは炎熱の地、極寒の地で戦死した教え子のことを考えて、どのような土地でも花を咲かせるサクラを作出したいと考えた。しかも害虫にも強くなければならない。心の奥底にあったこだわりが濃いピンク色。どうしてか。平和のシンボルとして海外でも愛される色と考えたからだ。



平和のシンボルとしての「陽光桜」。だから「非戦の桜」と言われる。

“花言葉 【精神の美しさ】”

高岡さんの一言がいつそう輝く。

「この美しい桜の姿を見ているだけで、人類は争いなどする気もなくなるわい」

参考：東京新聞 2021. 3.23 付 コラム「筆洗」

\* 茜沢ユメル作詞作曲「陽光桜～あの時の教え子たちへ」CDあり (元井 茂 記)

## 栃木市非核平和都市宣言

わが国は、広島・長崎に投下された原子爆弾による世界で唯一の戦争被爆国です。多くの犠牲のもとに戦争の悲惨さ、平和の大切さを学んだ日本国民は、憲法に恒久平和の理想を掲げ、その実現に努めてきました。

しかし、世界各地に核兵器が存在し、人類はその脅威にさらされ続けています。さらに、わが国では東日本大震災による原子力発電所の事故が発生し、再び放射性物質の被害と向き合うことになりました。

栃木市は、豊かな自然に恵まれ、歴史と伝統に育まれてきたまちです。このまちを誇りに思う栃木市民は、核兵器の脅威のない平和で安心して暮らせる社会の実現を求めて自ら行動し、未来を支える子どもたちに戦争の悲惨さ、平和の大切さを伝えていくことを誓います。

そして、核兵器の廃絶と平和で安心して暮らせる社会の実現を全世界の人々に強く訴え、ここに栃木市が「非核平和都市」であることを宣言します。

平成 24 年 3 月 1 日

栃木県栃木市

栃木市に対し、「政府へ核兵器禁止条約の参加を求める」陳情が行われました。残念ながら、否決されましたが、議員を中心に再度提出を求める動きがあると聞いています。栃木市には「非核都市宣言文」があります。この趣旨を生かすには核兵器禁止条約を世界に広めるしかないと思うのですが……

栃木市の非核平和都市宣言を  
読み直してみよう！

\* **スタンディング** 5月3日(祝) 10時から カワチ・イオン前 5月9日(日) 市役所前  
5月19日(水) ケーズデンキ前 16時から

\* **スタッフ会議** 5月13日(木)・5月28日(金) 楽習館(旧第一小学校)2階 13時30分から

\* **憲法記念集会** 5月3日(祝) 13時30分から とちぎ健康の森 講堂

記念講演「コロナ危機を乗り越え、新しい社会を目指して」講師 医師 本田 宏さん

(主催：9条の会・栃木 栃木革新懇)